



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
 コード番号 6190 URL https://phoenixbio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 島田 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	833	0.3	△200	—	△182	—	△184	—
2019年3月期第3四半期	830	28.8	△265	—	△259	—	△261	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △187百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △256百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△63.11	—
2019年3月期第3四半期	△89.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,044	1,366	66.8
2019年3月期	1,905	1,542	81.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,366百万円 2019年3月期 1,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,367	11.3	△87	—	△57	—	△59	—	△20.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	2,934,000株	2019年3月期	2,922,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	45株	2019年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	2,929,777株	2019年3月期3Q	2,916,258株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢が改善しており、景気は緩やかな回復基調が続いていますが、相次ぐ自然災害や消費増税の影響が懸念され、世界経済においても米中貿易摩擦の長期化、中東情勢の緊迫化など、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が活発な状況にあります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO(開発業務受託機関)へ委託するケースが増えており、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループはマウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス(当社製品名:PXBマウス)を用いた受託試験サービスを提供しており、世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心とした海外市場の拡大に注力してまいりました。

現在、肝炎関連試験が主力となっている薬効薬理分野においては、一部海外製薬企業における新薬開発の停滞が受注に影響した結果、受注高は前年同期を下回り、売上高についても予定していた受託試験が翌期に持ち越しになる等の要因が重なったことにより、前年同期を下回る水準に留まりました。一方、多くの新薬が対象となることから当社グループの成長分野として位置付ける安全性等分野においては、市場開拓を進めている海外市場の核酸医薬品関連で受注が大きく伸びたことにより、受注高及び売上高は前年同期を上回っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は833,042千円(前年同期比0.3%増)、営業損失は200,036千円(前年同期は営業損失265,730千円)、経常損失は182,991千円(前年同期は経常損失259,732千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は184,907千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期損失261,510千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,227,321千円となり、前連結会計年度末に比べ92,318千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が118,115千円増加したことによるものです。また固定資産は817,304千円となり、前連結会計年度末に比べ47,008千円増加いたしました。これは主に一部在外子会社においてIFRS第16号「リース」の適用に伴い、使用权資産が74,414千円増加した一方で、のれん償却額等の計上によりこのれんが23,734千円減少したことによるものです。この結果、資産合計は2,044,625千円となり、前連結会計年度末に比べ139,326千円増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は581,733千円となり、前連結会計年度に比べ277,349千円増加いたしました。これは主に短期借入金200,000千円、前受金が89,229千円、それぞれ増加したことによるものです。また固定負債は96,578千円となり、前連結会計年度末に比べ38,319千円増加いたしました。これは主にリース債務の増加によりその他が53,274千円増加したことによるものです。この結果、負債合計は678,311千円となり、前連結会計年度末に比べ315,668千円増加となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,366,313千円となり、前連結会計年度に比べ176,342千円減少いたしました。これは主に譲渡制限付株式の発行により資本金が5,412千円、資本剰余金が5,412千円、それぞれ増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が184,907千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,689	774,804
売掛金	245,256	146,867
製品	21,110	45,471
仕掛品	56,947	110,701
原材料及び貯蔵品	94,896	95,205
その他	60,102	54,270
流動資産合計	1,135,002	1,227,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	118,240	116,453
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	46,186	43,400
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	9,607	7,651
使用権資産(純額)	—	74,414
建設仮勘定	—	4,098
有形固定資産合計	470,035	542,018
無形固定資産		
のれん	283,666	259,932
その他	4,777	3,340
無形固定資産合計	288,443	263,272
投資その他の資産	11,817	12,013
固定資産合計	770,296	817,304
資産合計	1,905,299	2,044,625
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,337	15,427
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	26,004	20,004
未払法人税等	10,876	5,668
前受金	110,925	200,155
その他	129,239	140,478
流動負債合計	304,383	581,733
固定負債		
長期借入金	22,485	7,482
資産除去債務	3,077	3,125
その他	32,697	85,971
固定負債合計	58,259	96,578
負債合計	362,643	678,311

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,253,851	2,259,264
資本剰余金	473,760	479,173
利益剰余金	△1,142,755	△1,327,663
自己株式	—	△40
株主資本合計	1,584,856	1,410,733
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△42,200	△44,419
その他の包括利益累計額合計	△42,200	△44,419
純資産合計	1,542,655	1,366,313
負債純資産合計	1,905,299	2,044,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	830,862	833,042
売上原価	253,653	283,059
売上総利益	577,208	549,983
販売費及び一般管理費	842,938	750,020
営業損失(△)	△265,730	△200,036
営業外収益		
受取利息	598	673
為替差益	6,147	—
補助金収入	—	13,679
受取負担金	—	3,703
その他	954	3,094
営業外収益合計	7,699	21,151
営業外費用		
支払利息	1,090	1,086
株式交付費	611	123
為替差損	—	2,895
営業外費用合計	1,701	4,105
経常損失(△)	△259,732	△182,991
特別損失		
固定資産除却損	39	109
特別損失合計	39	109
税金等調整前四半期純損失(△)	△259,771	△183,100
法人税、住民税及び事業税	1,738	1,807
法人税等合計	1,738	1,807
四半期純損失(△)	△261,510	△184,907
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△261,510	△184,907

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△261,510	△184,907
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,356	△2,219
その他の包括利益合計	5,356	△2,219
四半期包括利益	△256,153	△187,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△256,153	△187,127

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの一部の在外子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結貸借対照表において使用权資産が74,414千円、流動負債のその他が14,292千円、固定負債のその他が60,378千円、それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

3. 補足情報

(1) サービス別売上高

		前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
薬効薬理分野	国内	107,028	12.9	68,638	8.3
	海外	402,732	48.4	240,026	28.8
安全性等分野	国内	97,792	11.8	101,893	12.2
	海外	223,307	26.9	422,484	50.7
合計		830,862	100.0	833,042	100.0

(2) サービス別受注高

		前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
薬効薬理分野	国内	196,437	89,408	192,899	122,431
	海外	493,840	304,571	300,394	271,866
安全性等分野	国内	110,211	15,419	127,284	31,269
	海外	236,388	158,320	404,238	141,080
合計		1,036,877	567,719	1,024,817	566,648

- (注) 1. 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであります。事業の傾向を示すためサービス別の売上高及び受注高を記載しております。
2. 第1四半期連結会計期間より、従来の「肝炎関連」は「薬効薬理分野」、「DMPK/Tox関連・その他」は「安全性等分野」に名称変更しております。なお、これらの変更によるサービス別売上高及びサービス別受注高に与える影響はありません。